

2009年度第2四半期決算概要

NISグループ株式会社
8571

この資料の数値に関しましては、日本会計基準に基づいて作成しております。

目次

I. 2009年度第2四半期決算概要

・業績概要	...	1
・主な損益要因	...	2
・再建プランの進捗①	...	3
・再建プランの進捗②	...	4
・貸借対照表	...	5
・事業別営業収益・営業利益の内訳	...	6
・利息返還損失の推移	...	7
・資金調達の状況(単体)	...	8
・業績予想の修正	...	9

II. ご参考

・ローン事業の状況(単体)	...	10
・貸倒償却と貸倒引当金の推移(単体)	...	11
・投資有価証券残高表	...	12

I . 2009年度第2四半期決算概要

業績概要

- 経営環境は引き続き厳しい状況であるものの、昨年度より進めている再建プランのもと連結グループの再編、フィービジネスの拡大など事業構造の建て直しを着実に推進。
- 連結範囲の変更、営業貸付金残高の減少により営業収益は大幅に減少。
- 前年同期には多額の保有不動産の評価損の計上、貸倒引当金の計上等があったものの、当期においてはそれら計上額の縮小及び社債買入消却益の計上等により当期純損失額は大幅に縮小。

(単位:百万円)

	2008年度第2四半期 連結累計期間	2009年度第2四半期 連結累計期間	前年同期 増減率
営業収益	19,811	5,194	△73.8%
営業総利益	△ 2,671	1,254	—
営業利益	△ 20,861	△ 5,003	—
経常利益	△ 22,327	△ 4,993	—
特別利益	363	4,237	—
特別損失	8,290	589	△92.9%
当期純利益	△ 30,921	△ 1,363	—

主な損益要因

■ 保有不動産の売却及び評価損の計上(営業損失)	...	△487百万円
・函館本町ホテル他、3物件の売却 (売却収入) 1,953百万円 (売却損純額) 116百万円		
・保有不動産の評価見直しによる評価損の計上 370百万円		
■ 不動産担保ローンにおける貸倒引当金の追加計上(営業損失)	...	△1,696百万円
・足許の不動産市況を鑑み、担保不動産の再評価を実施		
■ 利息返還関連引当金の追加計上(営業損失)	...	△2,178百万円
・交渉強化による支払額の抑制		
・足許の実績推移に基づき計上		
■ 投資有価証券評価損の計上(特別損失)	...	△453百万円
■ 社債買入消却益の計上(特別利益)	...	3,988百万円
・将来のキャッシュアウトの抑制及び社債利息の軽減		
国内社債(2010年2月償還) 額面:2,900百万円 消却益:628百万円		
国外社債(2012年6月償還) 額面:77.2百万米ドル 消却益:3,360百万円		

※△はPL上マイナス項目

再建プランの進捗①

1. 事業構造の転換

○主力・成長事業へ経営資源を傾注

①投資銀行事業：

- M&Aの仲介、アドバイザリー業務、投融資案件のアレンジメントやデューデリジェンス支援業務等

②貿易サポート事業：

- 中堅中小企業の国際商流に関連する貿易代行、ファクタリング、仕入・販売先の新規開拓及び交渉代行業務等

③海外事業：

- 国内外の中堅中小企業の相互進出にかかるサポート業務等

<上期実績>

	件数	営業収益(百万円)
投資銀行事業	21	330
貿易サポート事業	10 (取扱高 1億円)	6
その他	7	74
合計	38	412

⇒ 前年同期は20百万円

⇒ 第2四半期より本格稼働

⇒ 海外市場調査、ファンド管理報酬等

これまで培ってきたノウハウ、ネットワークを活用し、専門性の高いサービスの提供により
様々なニーズに対応し、事業拡大を図る

<下期計画>

	営業収益(百万円)
投資銀行事業	570
貿易サポート事業	(取扱高 約21億円) 120
その他	180
合計	870

<通期計画>

	営業収益(百万円)
	900
	126
	254
合計	1,280

再建プランの進捗②

- ローン事業については、引続き新規貸出を抑制し、業務の効率化と回収の最大化を推進
 - 営業貸付金残高は前期末比6,733百万円減少の26,718百万円
- 不動産事業については、保有資産のバリューアップを図るとともに売却処分を推進
 - 函館本町ホテル他、3物件を売却

2. 財務基盤の安定化

- 中小企業保証機構株式会社との戦略的資本・業務提携(2008年12月締結)
 - 2009年6月の定時株主総会において役員の選任
 当社取締役4名のうち3名、監査役4名のうち2名は中小企業保証機構株式会社等が指名する者を選任(2009年11月11日現在)
 - 日本振興銀行株式会社、中小企業保証機構株式会社等からの資金調達支援
- 資産の処分、社債買取等により負債を圧縮
 - 借入金残高(単体):33,784百万円(前年同期は76,379百万円)

3. コスト構造のスリム化

(単位:百万円)

項目	当上期実績額	前年同期比	摘要
人件費関連費用	400	△2,280	3本部18部から4部体制に変更(2009年4月) 2009年9月末人員数(連結):140名(前年同期は598名)
設備関連費用	244	△867	2009年5月、東京本社の移転 2009年9月末店舗数:1店舗(前年同期は12店舗)
その他販管費	1,591	△1,185	システム保守料等の大幅削減

貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)	2008年度末	2009年度 第2四半期末
流動資産	52,135	47,166
現金及び預金	3,427	5,475
営業貸付金	33,447	26,714
求償債権	3,692	4,584
その他貸付債権	2,120	335
販売用不動産	13,773	13,088
その他	3,047	2,017
貸倒引当金	△ 7,373	△ 5,050
固定資産	36,109	33,753
有形・無形固定資産	933	83
投資有価証券	8,149	8,853
破産更生債権等	46,955	47,457
その他	8,680	7,676
貸倒引当金	△ 28,609	△ 30,318
繰延資産	159	43
資産合計	88,403	80,962

※保証債務残高

21,614百万円

14,859百万円

(負債及び純資産の部)	2008年度末	2009年度 第2四半期末
流動負債	45,328	41,495
短期有利子負債	38,663	36,365
未払金・未払費用	1,942	1,363
未払法人税等	1,162	1,339
債務保証損失引当金	2,653	1,927
その他	905	499
固定負債	27,055	24,604
長期有利子負債	12,556	10,871
利息返還損失引当金	11,340	11,190
その他	3,159	2,543
負債合計	72,383	66,100
資本金	26,289	26,289
資本剰余金	30,180	30,180
利益剰余金	△ 48,711	△ 50,084
自己株式	△ 3,893	△ 3,893
評価・換算差額等	634	249
少数株主持分	11,520	12,121
純資産合計	16,019	14,862
負債及び純資産合計	88,403	80,962

※有利子負債合計

51,219百万円

47,236百万円

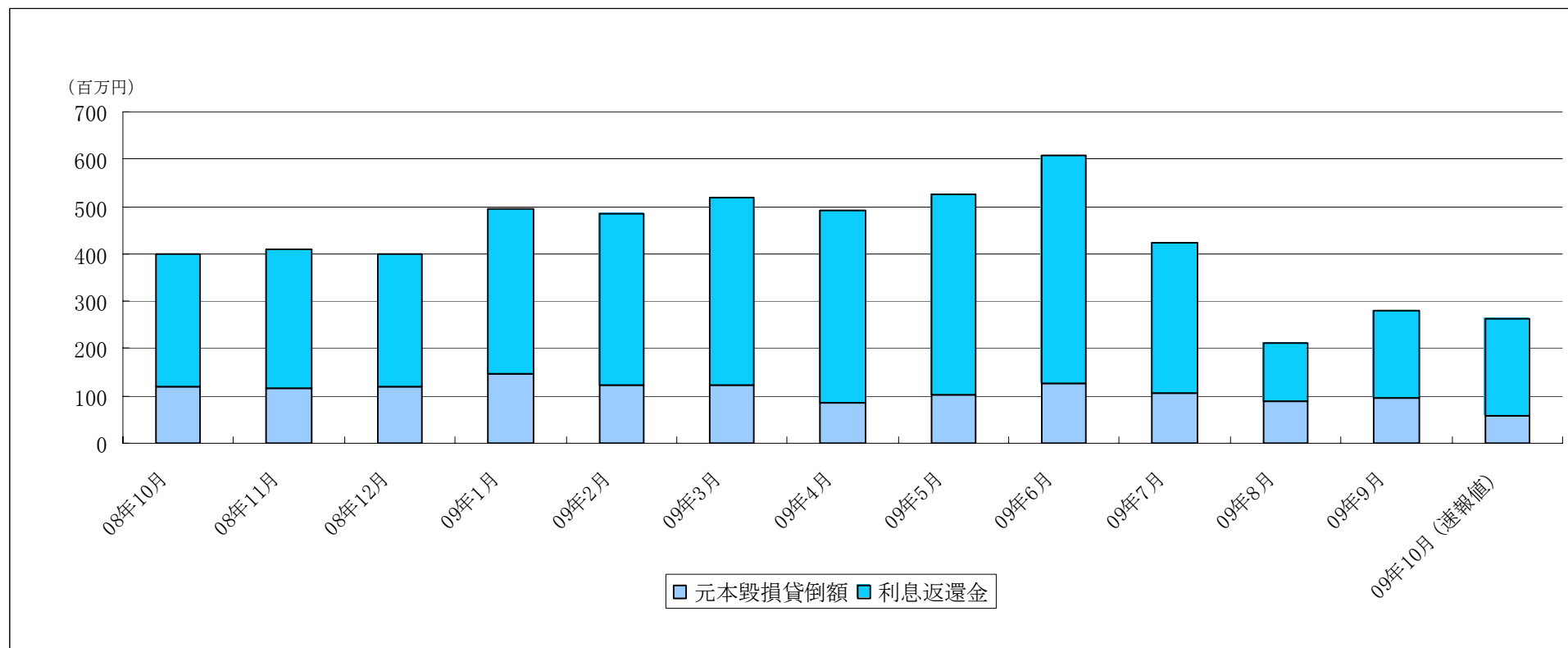
	2008年度末	2009年度 第2四半期末
自己資本比率	5.1%	3.4%

事業別営業収益・営業利益の内訳

区 分			事業別営業収益				事業別営業利益 (調整後)	
			2008年度第2四半期 連結累計期間		2009年度第2四半期 連結累計期間		2008年度第2四半期 累計期間	2009年度第2四半期 累計期間
			金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	金額(百万円)
総合金融 サービス 事業	営業貸付金利息	無担保・ 商業手形割引	3,423	17.3	835	16.1	△ 9,213	△ 4,264
		担保付ローン	1,617	8.1	386	7.5		
		計	5,040	25.4	1,222	23.6		
		投資銀行収益	20	0.1	412	7.9		
		受取手数料	112	0.6	22	0.4		
		受取保証料	925	4.7	755	14.5		
		リース・割賦売上高	1,941	9.8	-	-		
		その他	1,612	8.1	353	6.9		
		計	4,612	23.3	1,544	29.7		
	小計	9,653	48.7	2,766	53.3			
不動産 事業		不動産売却収入	830	4.2	1,953	37.6	△ 9,796	△ 488
		その他	690	3.5	467	9.0		
		小計	1,520	7.7	2,420	46.6		
その他の 事業		買取債権回収高	4,806	24	-	-	△ 3,506	△ 10
		買取不動産売却収入	2,483	12.5	-	-		
		その他	1,346	6.8	7	0.1		
		小計	8,636	43.6	7	0.1		
合 計			19,811	100.0	5,194	100.0	△ 20,861	△ 5,003

※事業別営業利益は消去または全社調整後の連結営業利益です。

利息返還損失の推移



(単位: 百万円)

	08年10月	08年11月	08年12月	09年1月	09年2月	09年3月	09年4月	09年5月	09年6月	09年7月	09年8月	09年9月	09年10月 (速報値)
元本毀損貸倒額	119	117	121	147	122	121	85	100	127	104	90	94	56
利息返還金	280	291	279	346	362	397	406	424	480	318	120	184	206
合計	399	408	400	493	484	519	491	525	607	423	211	278	263

資金調達の状況(単体)

(単位:百万円)

	2007年度末		2008年度末		2009年度 第2四半期末		対前期末 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
間接調達	71,162	51.5%	23,074	58.8%	28,364	84.0%	5,290
銀行	39,691	28.7%	17,169	43.7%	11,008	32.6%	△ 6,161
保険会社	2,062	1.5%	178	0.5%	-	-	△ 178
その他金融機関	1,372	1.0%	243	0.6%	17	0.1%	△ 226
ノンバンク(証券会社含む)	28,036	20.3%	5,483	14.0%	17,339	51.3%	11,856
直接調達	67,065	48.5%	16,198	41.2%	5,419	16.0%	△ 10,779
社債	56,880	41.1%	16,198	41.2%	5,419	16.0%	△ 10,779
証券化	10,185	7.4%	-	-	-	-	-
合計	138,228	100.0%	39,272	100.0%	33,784	100.0%	△ 5,488
期末加重平均金利		2.6%		5.7%		6.1%	

※1. 2007年6月に発行いたしました当社米ドル建無担保普通社債等に関して、通貨スワップ契約を締結しておりましたが、2008年9月に当該契約を解約したことから、当社社債等については、ドル建レートによって平均借入利率を算定しております。

※2. 社債の買入消却(額面)

	2008年度	2009年度
米ドル建無担保社債(2012年6月償還)	86百万米ドル	77.2百万米ドル
第9回国内無担保社債(2010年2月償還)	—	29億円

業績予想の修正

- 当第2四半期における不動産売却収入、不動産売却原価、利息返還関連の引当金、社債買入消却益の計上等ならびに株式会社アガスタの連結子会社化による修正。
- 引き続き、フィービジネスの拡大、財務基盤の安定化、コスト構造のスリム化等、再建プランに基づく事業構造の建て直しを推進し、業績の回復を目指す。

(単位:百万円)

	2009年度 第2四半期実績	2009年度通期	
		前回発表予想	今回発表予想
営業収益	5,194	8,000	10,000
営業利益	△5,003	△3,100	△4,500
経常利益	△4,993	△3,500	△5,100
当期純利益	△1,363	△1,000	△1,200

Ⅱ. ご 参 考

ローン事業の状況(単体)

■ 商品別残高

(単位:百万円)

	2008年度末	2009年 第1四半期末	2009年 第2四半期末	対前期末 増減率
担保付ローン	48,850	48,763	46,791	△4.2%
事業者向けローン	15,181	14,202	12,518	△17.5%
商業手形割引	25	25	19	△23.6%
消費者向けローン	12,266	10,931	9,447	△23.0%
営業貸付金合計	76,324	73,923	68,777	△9.9%
保証債務残高	25,580	21,118	17,865	△30.2%
うち担保付ローン	7,603	5,996	5,029	△33.9%

注: 営業貸付金には、破産更生債権等を含んでおります。

■ 約定金利帯別残高

(単位:百万円)

約定金利	2008年度末		2009年度 第1四半期末		2009年度 第2四半期末	
	残高	比率	残高	比率	残高	比率
5.0%未満	1,645	2.2%	1,642	2.2%	1,642	2.4%
5.0%以上10.0%未満	46,749	61.3%	47,559	64.3%	45,949	66.8%
10.0%以上15.0%未満	4,083	5.3%	3,124	4.2%	2,560	3.7%
15.0%以上20.0%未満	6,514	8.5%	5,993	8.1%	5,356	7.8%
20.0%以上25.0%未満	13,817	18.1%	12,401	16.8%	10,634	15.5%
25.0%以上	3,514	4.6%	3,201	4.3%	2,633	3.8%
合計	76,324	100.0%	73,923	100.0%	68,777	100.0%
平均約定金利	12.6%	-	12.2%	-	11.8%	-

注: 上記には、破産更生債権等を含んでおります。

注: 約定金利は事務手数料等を含んでおらず、実質金利とは異なります。

貸倒償却と貸倒引当金の推移(単体)

■ 貸倒償却率(年率)

	2008年度末	2009年度 第1四半期	2009年度 第2四半期
担保付	0.08%	6.83%	4.71%
事業者向け	26.17%	20.22%	19.54%
消費者向け	14.36%	13.02%	13.54%
全商品合計	8.95%	10.07%	8.81%

■ 貸倒償却額(四半期毎)

(単位:百万円)

	2008年度 第2四半期	2008年度 第3四半期	2008年度 第4四半期	2009年度 第1四半期	2009年度 第2四半期
貸倒償却額	1,735	2,133	1,216	1,892	1,279
うち利息返還に伴う元本毀損貸倒額	646	357	391	313	288

■ 貸倒引当金残高(一般引当金並びに個別引当金の合計)

(単位:百万円)

	2007年度末	2008年度末	2009年度 第2四半期末 全商品合計
	全商品合計		
貸倒引当金残高	23,359	29,236	28,459
一般貸倒引当金残高	3,340	1,186	907
個別貸倒引当金残高	16,159	25,941	25,652
利息返還に伴う元本毀損に対する貸倒引当金残高	3,859	2,109	1,900

■ 利息返還損失引当金残高

(単位:百万円)

	2007年度末	2008年度末	2009年度 第2四半期末
利息返還損失引当金残高	10,766	11,340	11,190

 利息返還損失関連
引当金残高
13,090百万円



投資有価証券残高表

2009年9月末

上場企業：銘柄	株数(株)	単価(円)	簿価(百万円)	株価(円)	時価(百万円)	時価・簿価差額(百万円)
株式会社インデックス・ホールディングス	143,500	3,500	502	4,250	609	107
株式会社ラクーン	500	17,204	8	184,900	92	83
株式会社インフォーマット	330	120,000	39	246,600	81	41
リスクモンスター株式会社	2,500	40,550	101	55,800	139	38
ソフトバンク株式会社	400	2,445	0	1,973	0	0
株式会社高知銀行	60,000	78	4	74	4	0
株式会社テンポスバスターズ	496	50,700	25	41,500	20	△ 4
新華ファイナンス・リミテッド	114,717	1,410	161	1,283	147	△ 14
株式会社徳島銀行	122,971	592	72	368	45	△ 27
マルマン株式会社	995,000	168	168	136	135	△ 32
計	-	-	1,085	-	1,276	191

未上場企業・その他	期末簿価(百万円)
非上場株式(139銘柄)	4,429
債券(9銘柄)	102
投資組合出資金等(14銘柄)	2,165
その他(4銘柄)	0
計166銘柄	6,697

*みなし有価証券を含んでおります。

関係会社(持分法)	期末簿価(百万円)
中小企業信用機構株式会社(旧アプレック)	295
ニッシン債権回収株式会社	218
株式会社ラ・パルレ	55
その他	270
計14銘柄	838

合計	期末簿価(百万円)
190銘柄	8,853

将来予測の記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が四半期決算短信提出日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

なお、当社グループの経営成績、株価及び財政状態等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには、以下のようなものがあります。

①経営環境上の要因によるリスク

- (a) 経営環境の悪化
- (b) 業界全般及び当社グループに対するネガティブな報道、不祥事の影響

②法的規制の要因によるリスク

- (a) ローン事業に関する規制
 - i) 貸付金利の規制
 - ii) 過剰貸付に関する規制
 - iii) 業務に関する規制
- (b) 「金融商品取引法」
- (c) その他の業務関連の規制等

③事業上のリスク

- (a) 資金調達及び調達金利
- (b) 利息返還請求
- (c) アウトソーシングに関するリスク
- (d) 投資銀行関連業務に関するリスク
- (e) 株式市況及び有価証券の流動性
- (f) 戦略的提携を成功、維持させる能力
- (g) 不動産市況及び流動性
- (h) 譲渡債権に関するリスク